

起立性調整障害疑い患者を 鍼灸院から総合病院へ 紹介した事例

2023/03/13 DAPAカンファレンス

はじめに 起立性調整障害とは？

- ・「思春期の自律神経の不調で朝起きられなくなってしまう病気」
英語名称はOrthostatic Dysregulation (OD)
- ・ 好発年齢は小学生から中学生。男児より女児の発症が多い傾向。
- ・ いじめなど精神的な理由の不登校と間違えられやすい。

参考

[一般社団法人 日本小児心身医学会のホームページ](#)

岡山県教育委員会 対応マニュアル

https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/604493_5061359_misc.pdf

フクロウ型体質(フクロウ型症候群)とは？

- 1980年に山本巖が「東医雑録」で、人間を「ヒバリ型体質」(交感神経優位型)と「フクロウ型体質」(副交感神経優位型)に大別して、その特徴を記載している。→ **苓桂朮甘湯**(りょうけいじゅつかんとう)が有効？
- ヒバリ型体質は朝から元気で朝食も入り、1日中元気に頑張れる。夜の睡眠も問題ない一方、フクロウ型体質(以下、フクロウ型)は、朝から寝起きが悪く朝食も入らず、無理して食べると胃がつかえる。遅刻の常習者となり不登校になることもある。昼から徐々に元気になり夜はとても元気で、「明日は学校に行く」と張り切っても、翌朝にはダウンしている。倦怠感、めまい、立ちくらみ、物音に敏感で動悸がするなどの症状も認める。西洋医学的には不定愁訴症候群、適応障害、睡眠相後退症候群などと診断されることがある。

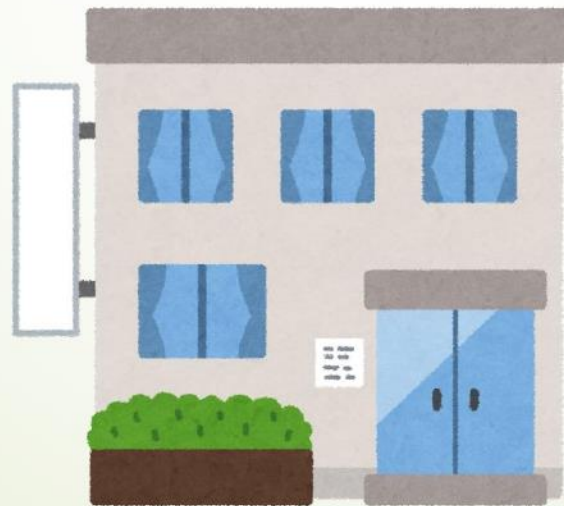
なぜ総合病院を紹介したか？

基本は鍼灸院→クリニック→医師の判断で総合病院だが
鍼灸院→総合病院への紹介はあり得る。
今回の紹介理由は「患者希望」であった。

大学病院や総合病院へかかりたい方は まずは「近隣クリニック」を紹介します。

- ▲ 大学病院を直接受診すると**選定療養費**がかかる。
- ▲ 画像データ等やり取りがうまくいかない事も。

- ◎ クリニックから大学病院は**選定療養費なし**。
- ◎ 画像データ等やり取りがうまくいく
- ◎ 鍼灸院に情報フィードバック



主訴・患者情報

「S (subjective) : 主観的情報」

10代男性(中学生)お母さんの紹介 別の整体院に行っていた。

主訴:

自律神経失調症(過敏性腸症候群)、朝起きられない(不登校気味)

医師の診断名:

起立性調整障害(疑い)、適応障害(疑い)→2022年1月S総合病院で脳MRI検査。異常なしも疑い診断名を告げられる。

通院状況:

S総合病院には現在はいっていない。現在は小児科クリニックに通院中。整体院へは1年通ったが通院中止。

既往歴

病気ではないが身長を伸ばすために小児科クリニックでリュープロレリン注射を行っている。

投薬:

ロラゼパム(ワイパックス)、メテノロン酢酸エステル(プリモボラン)、五苓散、リュープロレリン(注射・リュープリン)、整腸剤

→

筋肉をつける・身長を伸ばす治療、不安や自律神経の調整を目的とした治療を行っている模様

★薬の影響や起立性調整障害(≠フクロウ症候群)を気にしていた。

「O (objective) : 客観的情報」「A (assessment) :
評価」「P (plan) : 計画 (治療)」

身長 158センチ 体重48キロ * R5/02/18 測定

やせ型 過緊張 過敏性腸症候群もある。背部や頸部の緊張をとる
方針で施術。

脛が固いため脛のストレッチを指導した。リラックスしてもらうよう努め
る。信頼関係構築のため積極的に情報提供を行う。

考察1、代替医療の過剰な効果を煽る情報

- 起立性調整障害の代替医療はほとんどエビデンスがない。
一般社団法人 日本小児心身医学会は「**整骨や整体、サプリメントなどには明確なエビデンスがない**」と注意喚起を行っています。
- 鍼灸治療に関しても改善したという**報告はあるが**エビデンスと呼べるほどの根拠はない。
→ このような疾患は**医師と協力しながら施術に当たる**ことが理想？

参考

起立性調節障害に対する鍼灸治療の1症例 佐藤美和、福島正也

考察2, 鍼灸師にできる事は？

- 施術・コミュニケーション・情報提供等

→ ガイドライン等で医師の診断方法や薬などの知識も学んでおく。

- よくコミュニケーションをとり不満に出るような点を先につぶしておく。

病院を選んだ理由: 医師の紹介、交通の便、専門性の高さなど

不満は待ち時間の長さなど

→患者さんが「初診料」についての疑問を持った。医師より「現在、漢方薬の流通が不足している旨」の説明があった

参考: 厚生労働省 令和2(2020)年受療行動調査(概数)の概況

期待値を上げすぎない。不確実性も説明。治療がうまくいかないとき
けいに失望する。

参考: Keeping Expectations in Check With Immune Checkpoint
Inhibitors →

https://ascopubs.org/doi/10.1200/JCO.2017.76.2146?url_ver=Z39.88-2003&rfr_id=ori:rid:crossref.org&rfr_dat=cr_pub%20%20pubmed

Hope for the best and prepare for the worst.

-最善を願って、最悪に備えなさい-

私たち鍼灸師もどのように患者を支えていくかが課題ではないか？

補足・結果（医師診断結果）

- めまい、乗り物酔い、動機や血圧低下などはないため典型的なフクロウ型とは考えにくい
 - 自律神経失調症との診断名
- 肝鬱化火、湿困脾胃（寒湿の邪によって脾胃の運化機能が阻滞された病態）、肝脾不和、腎虚
 - 竹筴温胆湯（チクジョウシヤクタン）処方
 - 肝鬱、実熱を寫す鍼灸治療を勧められる。
 - 肋骨や首周辺を緩める。足三里周辺のストレッチを自宅でやるように鍼灸院で指導した。